

所沢市 財政トークス



第39号「令和7年度当初予算」
所沢市財務部財政課 令和7年5月発行

所沢市の財政について、わかりやすくお伝えするために発行している所沢市財政トークス。今号は、令和7年度当初予算について、「1 予算総額」「2 歳入予算」「3 歳出予算」の3本立てでお送りします。

財政に詳しい方も、普段あまりなじみのない方も、この機会に、所沢市の財政について新しい発見をしていただき、興味を持っていただけたら幸いです。

◎予算は千円単位で作成していますが、ここでは1万円未満を端数処理し、万円単位で表示しています。

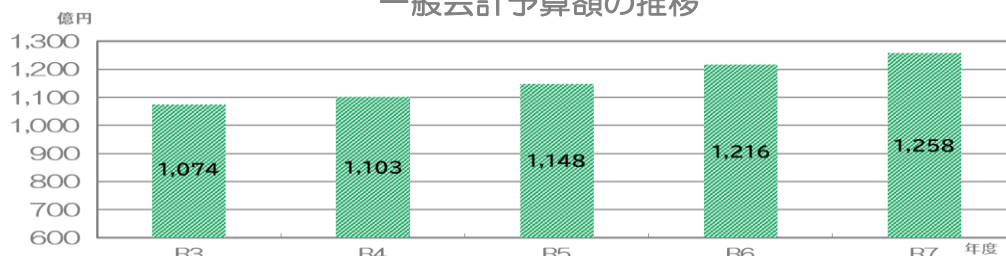
1 予算総額

一般会計予算総額 1,258 億 3,000 万円

3月13日に議会で予算案が可決され、令和7年度当初予算額が決定しました。

予算総額は、一般会計で1,258 億 3,000 万円、特別・企業会計を含めると、2,212 億 5,579 万円となりました。

一般会計予算額の推移



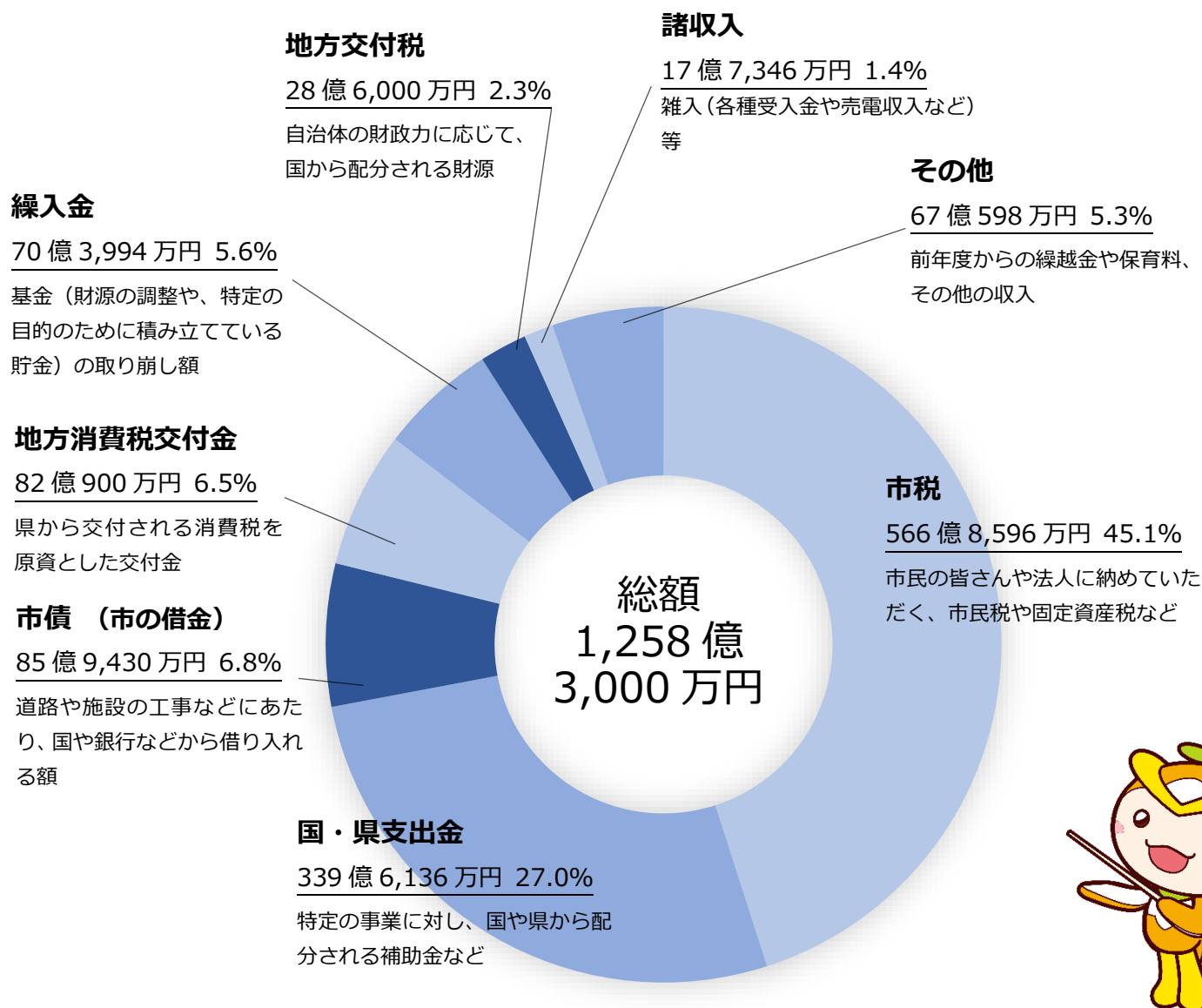
一般会計予算総額は、前年度比 41 億 8,900 万円増で**過去最大**となり、8 年連続で 1,000 億を超える予算規模となりました。

第2一般廃棄物最終処分場整備工事の本体工事がピークを越えたことに伴う減(約 20 億 5,898 万円)や歩行者ネットワーク整備工事(所沢駅西口歩行者デッキ整備工事)の皆減(約 4 億 4,400 万円)があった一方で、所沢市庁舎基幹設備改修工事に係る費用の増(約 31 億 4,815 万円)や歳出の約半分を占める民生費(福祉に係るお金)が、児童手当を中心に増額(約 36 億 1,839 万円)となったことが増額要因として挙げられます。

今年度の予算では、「こどもを中心としたまちづくり」を着実に進めるため、前年度に引き続き「**小・中学校の給食費無料化**」に係る費用や「**18 歳までの医療費無料化**」に係る費用を計上しつつ、各分野の必要な経費にもしっかりと予算配分をしました。

次のページからは、歳入・歳出の概要について、お伝えしていきます。

2 歳入予算



◆◆ 昨年度と比べて大きく変わったところは？ ◆◆

↑増額↑…国・県支出金(+33 億 5,875 万円、+11.0%)

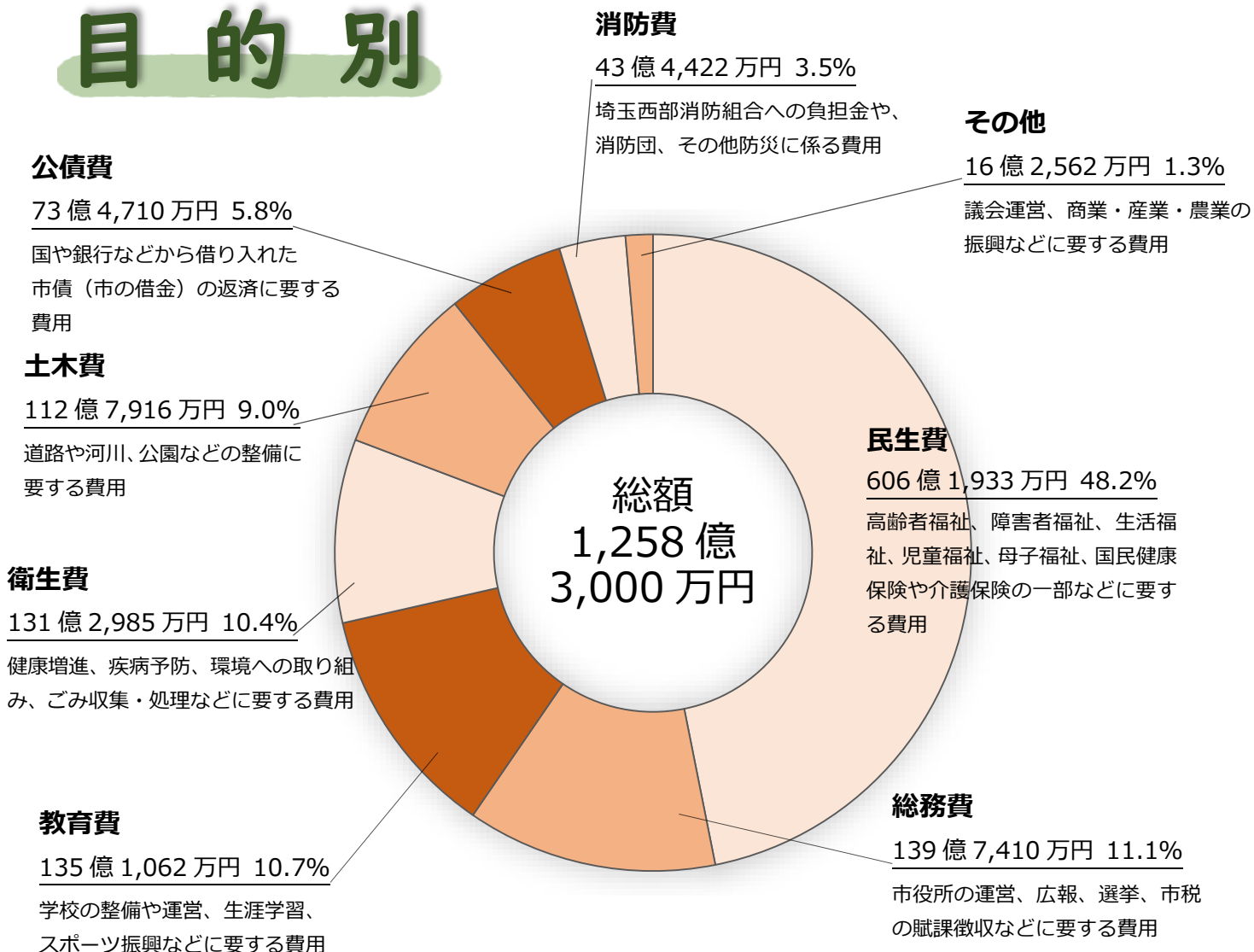
令和6年度から制度改正により支給対象拡充となった児童手当について、令和7年度の事業費が前年度よりも増になっていることに伴い、事業に充てられる国庫支出金である児童手当交付金も増額（+15 億 2,906 万円）になったことなどから、総額で 33 億 5,875 万円の増額となりました。

↑増額↑…市債(+9 億 4,318 万円、+12.3%)

所沢市庁舎基幹設備改修工事など、市債の活用が見込める事業が増えたことから、総額で 9 億 4,318 万円の増額となりました。

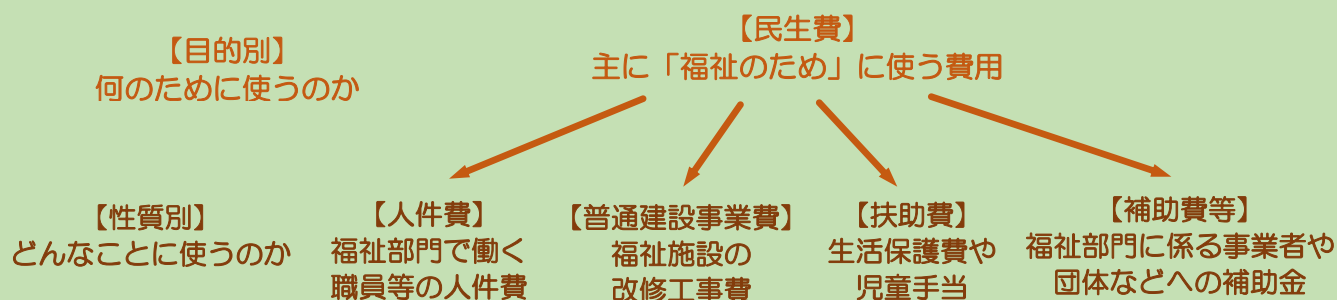
3 歳出予算

目的別



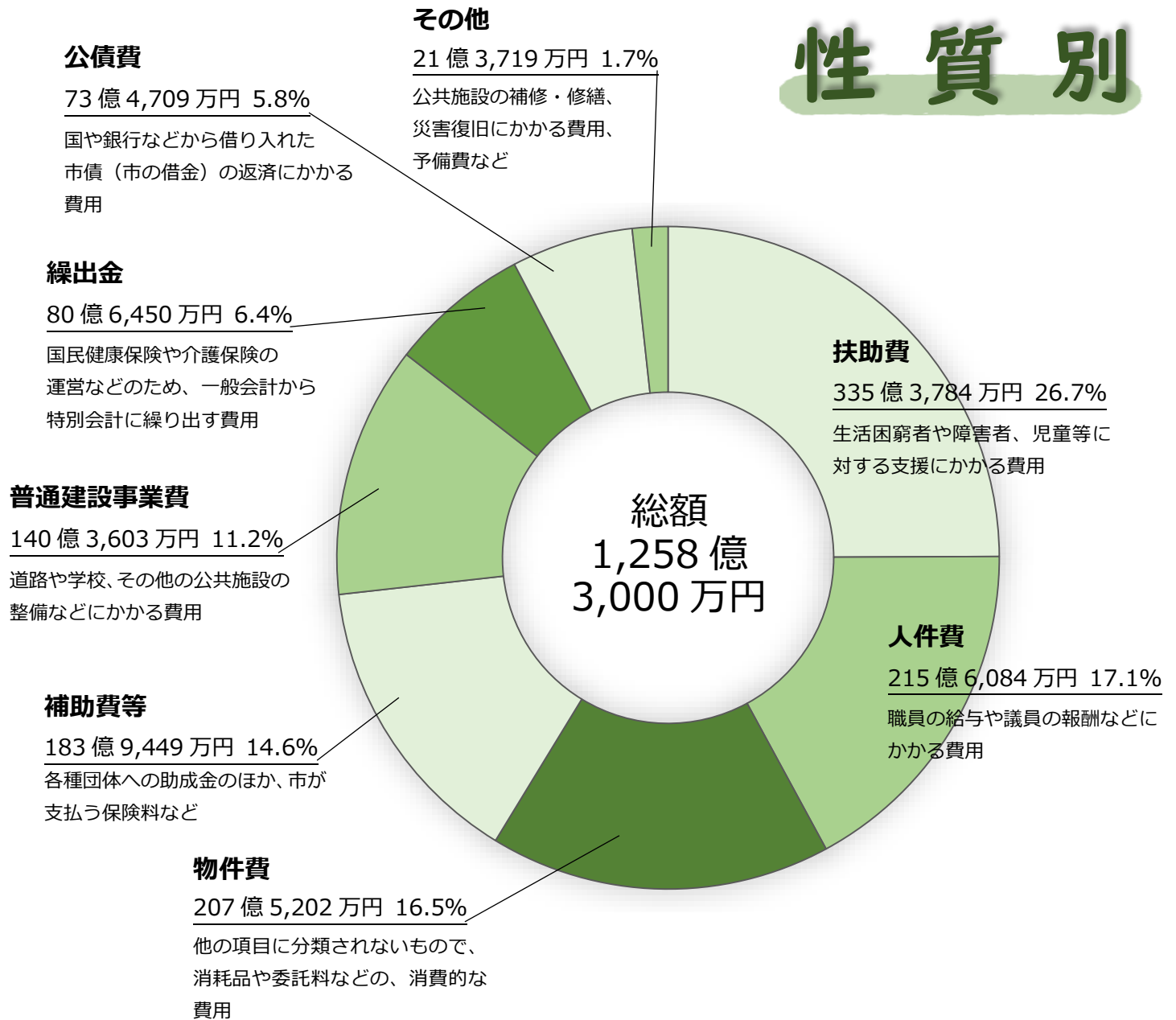
「目的別」と「性質別」はどう違うの？

歳出には、このページの「目的別」、次ページの「性質別」の2通りの分け方があります。ちょっとわかりづらいこの2つの違いを、目的別の民生費を例に見ていきたいと思います。



このように、「何のために使うのか」によって分類した目的別の中のいろいろな費用を、「どんなことに使うのか」に考え方を改めて分類し直したものが「性質別」になります。

性質別



他の市の予算額はどのくらい？

	人口（令和 7 年 4 月 1 日現在）	一般会計予算総額	1 人当たりの予算額
所沢市	340,466 人	1,258 億 3,000 万円	369,582 円
川越市	354,241 人	1,369 億 7,000 万円	386,658 円
越谷市	338,486 人	1,324 億円	391,154 円
狭山市	146,506 人	536 億 2,200 万円	366,005 円
入間市	141,264 人	553 億 1,000 万円	391,536 円
飯能市	78,858 人	318 億 5,000 万円	403,891 円
日高市	53,228 人	216 億 1,000 万円	405,989 円

令和 7 年度の予算額を県内の人口同規模の市や近隣市（ダイア 5 市）と比べてみました。人口と予算額は比例しており、人口 1 人当たりの予算額は概ね似通った数字となっています。

3・4ページで歳出予算について見てきましたが、ここでは、前年度と比較し、特に増減割合が大きいものについてご紹介します。

増えた？
減った？



歳出予算（目的別）

↑増額↑…民生費(+36億1,839万円、+6.3%)

児童手当費の増(前年当初予算比 14 億 7,018 万円)や、民間保育園保育実施委託料及び特定教育・保育施設等給付費負担金の増(前年度比 14 億 5427 万円)を主な要因として、増額となりました。

↑増額↑…総務費(+35億9,403万円、+34.6%)

市庁舎基幹設備改修工事費の増(前年当初予算比 31 億 4,815 万円)を主な要因として、増額となりました。

↓減額↓…衛生費(▲23億3,830万円、▲15.1%)

第2一般廃棄物最終処分場整備工事の本体工事がピークを越えたことに伴う事業費の減(前年度当初予算比▲20 億 5,898 万円)を主な要因として、減額となりました。



歳出予算（性質別）

↑増額↑…扶助費(+32億228万円、+10.6%)

児童手当費の増(前年当初予算比 14 億 7,018 万円)を主な要因として増額となりました。

↓減額↓…普通建設事業費(▲9億105万円、▲6.0%)

市庁舎基幹設備改修工事費の増(前年当初予算比 31 億 4,815 万円)がある一方で、第2一般廃棄物最終処分場整備工事の減(前年度当初予算比▲20 億 5,898 万円)や、施設整備事業の進捗に応じた事業費の減などにより、全体としては 9 億 105 万円の減額となっています。

終わりに……

いかがだったでしょうか？はじめに令和7年度の当初予算規模は過去最大とお伝えしましたが、今回の予算が前年度よりも増額となったことには、昨今の物価・人件費高騰が関わっている部分も大きいです。今後も厳しい状況での予算編成となることが予想されますが、引き続き持続可能な財政運営に向け、経費削減や歳入確保に努めていきます。

この他にも財政課では、財政情報や資料などを市HPなどでお知らせをしています。今後も財政情報をより分かりやすく発信していきますので、是非ご覧ください。

